

令和5年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

資料 1 - 2 - 6

団体名(所管課名) 特定非営利活動法人岩槻・人形文化サポーターズ(観光国際課) 事業名 日本のお传统文化である節句祭りの継承と新しい挑戦

事業の目的 日本の独自文化である五節句に改めて光を当て、関連する形で岩槻の伝統産業であるものづくり、地域の自然や歴史ある観光資源などとも連携させ、誘客効果のある継続可能なイベントに育てること。

事業の目標 (1)岩槻駅から岩槻人形博物館を結ぶ商店街を含むエリアでの節句にかかわる掲示物の展示や掲揚を通して節句文化の伝承や伝統産業への意識向上に寄与する活動を行うこと。
(2)地域文化でもある子ども孫悟空パレードをキーワードにして、新しい春の節句仮装イベント(春のハロウィン)を参加型の新たな観光資源に育てる活動を行うこと。
(3)端午の節句に相応しく子どもが主役で、その家族も観光客も一緒に参加して楽しみ、地域や商店街との交流の場を通していろいろな制作体験なども行える機会を増やし、何度来ても楽しめるイベントに育てる活動を行う事。

該当する所に○をつけてください

| 項目 | 評価の視点 | 評価 | | | 評価理由など |
|--|--|-----------|-----------|--------------|--|
| | | 充分 できた | 概ね できた | 充分では なかった | |
| 1 事業の目的と目標の設定 | 協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。 | ○ | | | 協働協定書に書かれた内容は共有できて、情報の共有も十分できていたと思えた。 |
| 2 事業の成果 | 事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値) | | ○ | | 地域の伝統事業との連携・情報発信なども企画の中に入れていたが、時間的な制約もあり考えていたようにはいかない部分もあった。 |
| | 市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。 | ○ | | | これまでやって来なかった企画内容の実施であり、新しい視点での子ども連れ家族、市民や学生、地域商店からも継続開催の要望が多く出ている。 |
| 3 協働事業の効果 | 協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得) | | ○ | | 効果は有ったが、政令都市さいたま市の情報発信力を、五節句のイベント開催においていかに上手に活用できる企画内容になっていたか反省あり |
| 4 市民活動団体と担当所管課との連携 | 協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。 | | ○ | | 企画段階、開催前の広報連携、開催期間中、開催後の報告など連携出来ました。 |
| 5 事業の適切な取組 | 事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。 | ○ | | | 初めて企画した事業内容も多くありましたが、事前の調整や連携も上手く行って今後の継続開催にも希望が持てる状況です。 |
| ★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など | 1、新年度予算決定後から年度末まで事業完了条件では、4~5月の企画事業では準備期間が少なく難しい、年度をまたぐ事業も認めてはどうか。 2、補助対象事業の継続性を求めるのであれば、継続に必要な備品と認められた購入費などは継続報告を求めた上で補助対象にしてはどうか。 | | | | |

令和5年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 特定非営利活動法人 岩槻・人形文化サポーターズ(観光国際課) 事業名 日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦

事業の目的

日本の独自文化である五節句に改めて光を当て、関連する形で岩槻の伝統産業であるものづくり、地域の自然や歴史ある観光資源などとも連携させ、誘客効果のある継続可能なイベントに育てること。

事業の目標

- (1) 岩槻駅から岩槻人形博物館を結ぶ商店街を含むエリアでの節句にかかわる掲示物の展示や掲揚を通して節句文化の伝承や伝統産業への意識向上に寄与する活動を行うこと。
- (2) 地域文化でもある子ども孫悟空パレードをキーワードにして、新しい春の節句仮装イベント(春のハロウィン)を参加型の新たな観光資源に育てる活動を行うこと。
- (3) 端午の節句に相応しく子どもが主役で、その家族も観光客も一緒に参加して楽しみ、地域や商店街との交流の場を通していろいろな制作体験なども行える機会を増やし、何度来ても楽しめるイベントに育てる活動を行う事。

該当する所に○をつけてください

| 項目 | 評価の視点 | 評価 | | | 評価理由など |
|--|---|-----------|-----------|--------------|--------|
| | | 充分 できた | 概ね できた | 充分では なかった | |
| 1 事業の目的と目標の設定 | 協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。 | | ○ | | |
| 2 事業の成果 | 事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果: 協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small> | ○ | | | |
| | 市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。 | ○ | | | |
| 3 協働事業の効果 | 協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果: 互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small> | | ○ | | |
| 4 市民活動団体と担当所管課との連携 | 協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。 | | ○ | | |
| 5 事業の適切な取組 | 事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。 | | ○ | | |
| ★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など | 当事業を通じ節句文化の伝承や伝統産業への意識向上、地域や商店街との交流等につながったことと存じます。 今後もこのような機会があれば引き続き協働して参りたいと考えております。 | | | | |

様式第7号(第11条関係)

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年 5月19日

(あて先)

さいたま市長

所在地 さいたま市岩槻区城町2-11-48

団体名 特定非営利活動法人

岩槻・人形文化サポーターズ

代表者氏名 加藤 三郎

令和5年4月17日付け市市協第5-10号で交付決定の通知を受けた令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業(一般助成事業・団体希望助成事業)が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 交付決定額 | 金 910,000 円 |
| 2 精算額 | 金 <u>767,010</u> 円 |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |

(1) 支出を証する書類

(2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料



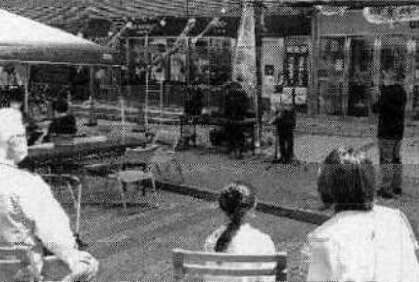



令和5年度マッチングファンド事業実施報告書

| | |
|-----|-------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 岩槻・人形文化サポーターズ |
|-----|-------------------------|

| | | |
|-----------|--|--|
| 事業名称 | 日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦 | |
| 実施期間 | 令和5年4月～令和5年5月 | |
| 総事業費 | 1,022,683 円（内訳は別添事業収支計算書参照） | |
| 内助成金交付申請額 | 767,010 円 | |
| 事業の目的 | *計画書の「1 現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください 今回は五節句の中の「端午の節句」に焦点を当て、端午の節句の本来の目的である「子供の成長を祝う」文化を、親子などを含めた多世代に、楽しみながら広め、端午の節句文化を盛り上げていくこと。さらには、岩槻駅周辺の商店街巡りや街巡りを通じ、岩槻の魅力や文化を市内外に発信し、岩槻に入を集客し、観光客の増加や活性化を目指します。 | |
| | 事業の具体的な内容 | |
| 事業の実績 | いつ | 令和5年4月29日～令和5年5月7日 |
| | どこで | 岩槻駅から岩槻人形博物館周辺の商店街 |
| | だれに | こども及び子ども連れの家族 |
| | なにを | 五節句の中の、端午の節句に関する催事 |
| | どうした | 鯉のぼりを付けた幟旗の設置、クレセントモール上空ロープ鯉のぼり展示、鯉のぼり、兜、鎧制作体験、鯉のぼりくぐり、武者衣装記念写真、手づくり体験仮装まち巡り、参加店で買い物、福祉こどもフェスタ、キッズダンス、日替り子供遊びを実施 |
| | （詳細な内容）別紙のとおり | |
| 事業の評価 | 成果 | |
| | *事業の結果を表す数値を記載ください（例：参加人数等）。 | |
| | イベント累計参加者数 2,100 人 | |
| | 効果 | |
| 今後の展開 | *事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。 課題としては、長期開催の中で掲示物（鯉のぼり、幟旗）などの安全対策、まち巡りなどの広域イベントからくる事故防止などが課題となった。対策は、毎日の安全巡回確認作業と、まち歩きは保護者同伴を義務付けた。良かった点は、申請当時にぎわい交流館会場での主たるイベント開催は予定できなかったが、その後に了解が得られて3日間の開催にこぎつけ、人形博物館への来場者増加にも貢献できた。評価としては、長期開催ではイベントの目玉が多く作れるので全体として天候に左右されにくく、地域外からの来場者も多く岩槻らしいイベントとの高い評価の声が多く聞かれた。複数の会場設置と商店街を巻き込んだまち巡りを企画したことで点から面のイベントに広がってきた。開智学園生徒（15名）のボランティア参加が子ども連れの家族から非常に喜ばれた。 | |
| | *この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？ ※翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。 人形博物館、にぎわい交流館、地域商店街等との連携や協働を深め、長期開催の春のイベントにしたい。慈恩寺の子供孫悟空パレードを基にした、さいたま市岩槻発祥の「春のハロウィン」を広域に定着させるような内容の企画を、プロのアドバイスも得られるようにして発展させていきたい。 | |

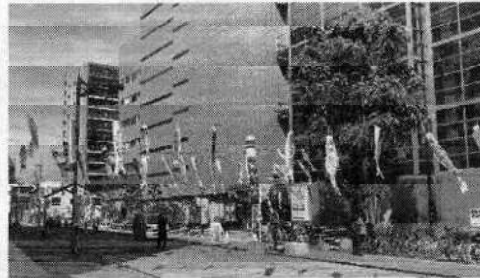
事業の内容

| 実施時期 | 労力換算 番号 | 実施内容 |
|---------|------------|--|
| R5.4.18 | | <ul style="list-style-type: none"> ・当団体役員によるイベント実施に会議 (内容) 4/17助成金交付決定通知を受けての役割分担の話し合い |
| R5.4.19 | | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場の道路使用許可申請 (内容) 岩槻駅前クレセントモール使用のための警察、都市振興の許可 |
| R5.4.20 | | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント協力、参加団体への説明会 (内容) 4/29～5/7までの日程、会場、内容別のすり合わせ調整 |
| 〔駅前会場〕 | | |
| R5.4.29 | | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉子どもフェスタ、手づくり福祉商品販売、音楽演奏 (内容) 岩槻区、見沼区の福祉関係の作業所9施設が参加し、ワークショップや製作品の販売、音楽演奏を行った。 <p>※大野元博埼玉県知事が丁度岩槻に来ていて、声掛けをして会場で記念写真や挨拶もして頂いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑大野県知事が武者に変身</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑クレセントモール会場風景 (駅前側から)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑音楽演奏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑会場風景 (駅の反対側から)</p> </div> </div> <p>イベント参加者：540名 参加団体：ほとふ館、第1やまぶき、千乃詩、つみ喜、えーる、ふくふく、丸園芸、ささばし、ポルトス</p> |

R5.5/1.2.4.6

※4/30、5/7は
雨天の為中止

・誰でも参加こどもまちあそび
(内容) 日替り組立ネットでのトンネルくぐりと風船あそび



↑クレセントモール会場の風景 (4/29~5/6)



↑風船で遊ぶ子供達の会場風景



←ジャンケンで勝って風船をもって喜ぶ子ども

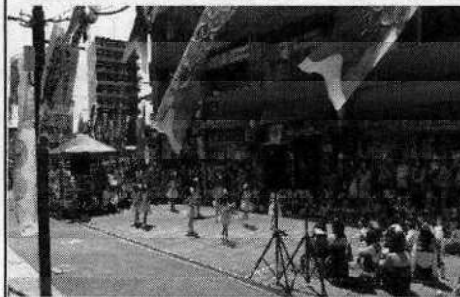


↑ネットトンネルくぐり遊ぶ親子

イベント参加者数 : 5/1 (55) 5/2 (32) 5/4 (63) 5/6 (35)
計 185 名

R5.5.3

・キッズダンス、子ども縁日
(内容) 区内で活動している子供達のダンス披露



↑会場の風景 (幼稚園児)



↑会場の風景 (小・中・高校生)



↑子ども縁日会場の風景



↑子ども縁日会場の風景

イベント参加者数 : 650 名

R5.5.5

・手作り体験、子ども仮装まち巡り
(内容) 紙相撲体験、被れるかぶと作り、手づくり孫悟空衣装でまち巡り、
参加店専用サービス券でお買い物



↑開智学園の生徒達にも手伝ってもらっての孫悟空の衣装づくり風景



↑出来上がった手づくり衣装を着て鯉のぼりももらってご機嫌↑



手作り衣装で変身→



↑出来上がった手づくり衣装を着てまち巡り

イベント参加者数： 165 名

(にぎわい交流館会場)
R5.5/3.4.5

・端午の節句を家族で体験、ワークショップ、思い出づくり
(内容) 武将に変身記念写真、鯉のぼりくぐり、木目込み兜製作、
彩色兜絵付け体験、和風小物販売



↑木目込み兜製作会場(5/3)



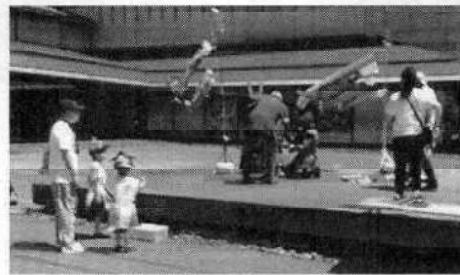
↑武将に変身着付け会場



↑彩色兜絵付け会場(5/4)



↑完成した絵付け兜



↑武将に変身記念写真撮影会場(5/3~5)



↑鯉のぼりくぐり会場(5/5)

イベント参加者数 : 5/3 (76) 5/4 (110) 5/5 (374) 計 560 名
全体の総参加者数 (2,100 名)

R5.5.18

・イベント報告、反省会

事業収支計算書 (計画、交付申請、変更、実績)

<収入>

単位：円

| 区分 | | 算出根拠 | 金額 |
|------------------------------|--------|---|-----------|
| 収入合計 (A) | | (a) + (b) | 1,022,683 |
| 自己資金額 (a) | | ①～⑥の合計 (d) と同額 | 255,673 |
| 団体の自己資金 | ① 自己資金 | | 63,173 |
| | ② 協賛金 | | 130,000 |
| | ③ | | |
| 費用の徴収 | ④ 参加費 | 46人×1,000円=46,000円 (ワークショップ体験) 33人×500円=16,500円 (衣装作り体験) | 62,500 |
| | ⑤ | | |
| | ⑥ | | |
| 助成金交付申請額 (b) (助成金収入、100万円以内) | | (c) と同額 | 767,010 |

<支出>

| 区分 | | 算出根拠 | 金額 |
|---------------------------------|-----------------|---|-----------|
| 支出合計 (総事業費) (B) | | (c) + (d) | 1,022,683 |
| 助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費 | ① | | |
| | ② 消耗品費 | ワークショップ用資材、イベント参加景品代 (118,083円のうち助成金充当分) | 50,000 |
| | ③ 印刷製本費 | チラシ印刷代 (35,060円のうち助成金充当分) | 35,000 |
| | ④ 賃借料 | 節句のぼり旗、音響機材、掲示用壁のぼりレンタル、テント、イス等 (357,600円のうち助成金充当分) | 170,070 |
| | ⑤ 謝金・報酬 | 安全誘導、掲示物設置、撤収、ワークショップ講師、音楽出演者等 | 362,500 |
| | ⑥ 委託料 | チラシデザイン3種 | 60,000 |
| | ⑦ 保険料 | イベント関係保険 | 29,440 |
| | ⑧ 役務費 (通信運搬費等) | 地域情報紙掲載2回 | 60,000 |
| | ⑨ | | |
| | ⑩ | | |
| 助成金充当経費計 (c) | | ①～⑩の合計 (b) と同額 | 767,010 |
| 助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費 | ⑪ 印刷製本費 | チラシ印刷代 (35,060円のうち助成金限度額を上回る分) | 60 |
| | ⑫ 賃借料 | 節句のぼり旗、音響機材、掲示用壁のぼりレンタル、テント、イス等 (357,600円のうち助成金限度額を上回る分) | 187,530 |
| | ⑬ 消耗品費 | ワークショップ用資材、イベント参加景品代 (118,083円のうち助成金限度額を超える分) | 68,083 |
| 助成対象外経費 | ⑭ | | |
| | ⑮ 事業に附随して必要な経費 | | |
| | ⑯ ((c)の10%以内) | | |
| | ⑰ 事業に附随して必要な事務局 | | |
| | ⑱ 人件費 | | |
| | ⑳ | | |
| 自己資金充当経費計 (d) | | ⑪～⑳の合計 (a) と同額 | 255,673 |

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。